

令和4年度 こぶし園 事業報告

1、利用者および職員の状況

利用者状況	出身市町村	障害支援区分	職員状況
利用者数 男性27名・女性9名 合計36名 (定員)30名	飯田市(14名) 豊丘村(5名) 喬木村(7名) 高森町(4名) 松川町(3名) 飯島町(1名) 阿南町(1名) 下條村(1名)	区分1(0名) 区分2(7名) 区分3(15名) 区分4(8名) 未判定(6名) 平均区分(3.03)	管理者 1名(兼務) サビ管 1名(専従) 事務職員 1名(専従) 職業指導員 2.7名(専従) 生活支援員 3.5名(兼務) 目標工賃達成指導員 1名(専従) 調理員 1名(専従) 栄養士 1名(専従)

2、就労に関する支援

①事業所活動『しあわせの会』

利用者主体となって、やってみたいこと、学びたいことを自分たちで話し合い立案、計画をすることで主体性をもっていただく機会とする。また、体験や学習を通して社会生活、就業生活を送るうえで必要な力を身に付けていただくことを目的とする。

月	内容
4月	しあわせの会：カタログギフト注文・てっぺん公園散策
8月	盆花の販売
8月	しあわせの会：てっぺん公園散策・アイスクリーム
9月	希望登園：マレットゴルフ
11月	希望登園：柿の収穫作業
11月	しあわせの会：魚釣り
12月	仕事納めビンゴ大会・セレクトおやつ
1月	仕事始め・初詣
2月	しあわせの会：動物園散策と豆まき
3月	修了式：セレクトケーキ

※新型コロナウイルス感染防止のため、感染レベルの様子を見て行う。

②就職活動にむけて

就職活動にむけ、面接の指導、社会マナー（あいさつ、人との接し方など）の学習と実践を行う。

※『しあわせの会』『希望登園』などと連動

3、事業内容

①生産活動

区分	種目	内容	協力機関・販売先
自主製品	薪製造	薪割り、薪運び、配達、たがづめ、原木の調達	個人のお客様
	椎茸栽培	原木運び、収穫	各直売所
	「市田柿」製造	柿畑管理、柿取り、皮むき、	県内外顧客

		つるし、粉だし 選別出荷	(株)木下商事 (株)飯田青果・JA 他の福祉事業所 豊丘村ふるさと納税返礼品
	農園芸作業	野菜作り、梅収穫、花苗、盆花	各直売所・注文による販売
	水 稲	白米、もち米、古代米作り	各直売所・給食へ販売 注文販売
	特用林産物	正月飾り作り、めだかの販売	周辺寺社、企業 各直売所・注文販売
農林業受託事業	栗の収穫	栗の収穫	ライラック農園
	大豆の栽培	肥料まき 除草剤まき 種まき・除草など	旭松食品(株)
	野菜の栽培	肥料まき・種まき・除草	(株)豊かな丘 (とよおかマルシェ)
	市田柿の圃場管理 ・収穫	圃場の草刈り・柿収穫	(株)市田柿本舗ぷらう
	薪製造・配達	薪割り、薪運び、配達	(株)DLD
受託事業	段ボール	組子の組み立て	(株)丸一パッケージ
	農業用資材製造	動物除け製品作り 特殊マルチ小分け、梱包	小林製袋産業(株)
	干し柿用資材製造	柿のれん、化粧箱の組み立て 等	
	加工下処理	みかんの皮むき	小池手造り農産加工所
	黒ニンニク	黒ニンニクの計量 パッケージング	南アルプス農場
	リパック作業	商品のリパック	World Market
	プラスチック分別	ペットボトルの分別 スティックの分別	東京スプレー
	バリ取り作業	砂型のバリ取り・フィルター 入れ	東京シェルサービス
村受託事業	資源リサイクル ステーション管理	リサイクル物の受入、 分別指導(毎週日曜)	豊丘村
	豊丘霊園整備	草刈り後の草集め、運搬	
	公園トイレの清掃業 務	トイレ清掃	豊丘村・喬木村
	公共施設周辺整備	草刈り等	松川町
加工・販売関係	加工品製造・販売	各種加工品の原料生産、加工 品の販売・出荷	小池手造り農産加工所 各直売所 イベント販売

②各種イベント販売

- ・飯田市役所本庁舎ロビー販売
- ・盆花販売
- ・長野県セルプセンター協議会販売会 in とよおか

※その他のイベント販売については、コロナ感染予防のため中止

③他施設との連携販売

他施設イベント販売（委託販売・オンライン販売）
販売や就労に関する情報交換

④工賃向上計画の策定と実施

工賃アップに向けた振り返りと計画の策定。
こぶし園の実績 20,007 円/月一人当たり（令和 4 年度）
※長野県の令和 3 年度平均工賃は 16,153 円
※全国の令和 3 年度平均工賃 16,507 円

4、事故等の状況

事故……………4 件（車両事故・通院を伴うケガ・転倒圧迫骨折）

ヒヤリハット……30 件（作業中の軽度な怪我・車からの転倒・滑落・移動中の転倒・異食・利用者間
トラブル・送迎漏れなど）

◇事故・ひやりはっと対応

事故やヒヤリハット報告をうけ、毎日の小ミーティングや職員会、ケース会議等で利用者さんの特性の再確認や情報共有、検証などを行うとともに、作業現場などの危険箇所や作業内容を検討して再発や大きな事故につながらないように努めている。また、毎朝のミーティングの中で「安全の一言」を述べ確認する時間を設け、危機管理の意識を高め事故やケガなどの防止に努めている。

◇苦情 1 件 内容、処理結果

【内容】職員の支援に疑問を感じる。（帰宅時の身だしなみの乱れ、忘れ物等）また、送迎添乗時に座ったまま見送る職員がいる。安全確認含め心配なため改善してほしい。

【処理結果】職員内で内容について検討し、業務基準書を作成。送迎添乗時の支援、対応について共通化を図る。また、乗車人員のチェックシートを活用し降園時の個別の容姿事項なども項目に入れ確認できるようにし、対策を保護者の方へ報告し了承を得る。

5、会議・研修等

事業所職員会 （ケース会議含む）	第二こぶし園との合同 職員会	作業に関わる各種研修	知障協各研修会
SELP 主催各種研修会	県事業に関する説明会	事業所内各学習会	各ケア会議
虐待防止研修 「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」		虐待防止チェックリスト 「職員セルフチェックリスト」 「虐待早期発見チェックリスト」	

令和4年度 生活介護事業所「第二こぶし園」事業報告

1 利用者状況（令和5年3月31日現在）

利用者数	年 齢	出身市町村	支援区分
定員 30 名 (内：きずな 10 名)		豊丘村 6名	
男性 20名	男性 35.0歳	飯田市 16名	区分3 7名
女性 17名	女性 36.5歳	喬木村 6名	区分4 17名
計 37名	全体平均 35.8歳	高森町 5名	区分5 11名
		松川町 3名	区分6 2名
		塩尻市 1名	(平均 4.2)

2 職員体制（きずな含む）

管理者	1（GH 兼務）	看護師兼生活支援員	1
事務員	1	調理員	3（こぶし園兼務）
サービス管理責任者	1	栄養士	1（こぶし園兼務）
生活支援員	9（育休1）	送迎職員	5（こぶし園兼務）

3 年間開所日数および1日平均利用者数（きずな含む）

年間開所日数…245日 ・ 一日平均利用者数 29.5名（延べ利用者数 7,209人）
 ※新型コロナウイルス感染症のため、休園、各行事の縮小・中止等、事業所の一本化を行った。

4 日中活動（こぶし園相互活動を含む）

活動班	主な活動
グループ①	農作業…ねぎ（冬）、じゃがいも、大根、人参、カブ、ちっちゃいケール、ほうれん草、柿取り、ブルーベリー収穫、柿木皮削り、チップ撒き など 上記に伴う 肥料撒き、水遣り、草取り、収穫、出荷作業 水稲作業…うるち米（稲刈り・脱穀作業） 園芸作業…アスター、葉ボタン販売 受託作業…東京シェル作業（バリ取り、組み立て）
グループ②	農作業など…グループ①と一緒に 創作活動…火曜日午後と木曜日午後（裁縫、塗り絵、図書館、ドライブ、製作等） 体力維持活動…ウォーキング、ミニゲーム 受託作業…ヤクルトサービス、東京スプレー作業（スティック分解）
グループ③	マキ製造…DLD契約作業：（原木・マキ運び・配達・チラシ配布） 自主販売：（原木・マキ運び・タガ詰め・配達） 受託作業…しめじキャップ作業（容器清掃、ウレタン交換）

きずな R4.9～開所	従たる事業所として開所（旧宅老所：きずな跡地） 定員増に伴う利用者さんの分散・少人数に特化した支援拠点 マキ製造・農作業中心・受託作業に時期や利用者さんの特性に合わせた作業 体力維持活動…ウォーキング、自然散策、体操（ストレッチ etc…）等 創作活動…個別の活動、創作活動、ドライブ 等
----------------	--

※サンスポート運動教室については、新型コロナウイルス感染予防のため休止とする。

5 事業所の日（おもに毎月第四金曜日実施）

月	内 容	月	内 容
4	運動（パラバレーン） （時短・分散 開催）	10	宝探し・焼いも大会 （分散 開催）
5	九十九谷森林公園 散策 （時短・分散 開催）	11	魚釣り
6	感染症についての学習・おやつ作り （時短・分散 開催）	12	クリスマス会 （分散 開催）
7	創作（壁画作り）・おやつ作り （時短・分散 開催）	1	初詣（瑠璃時・熊野神社） （時短・分散 開催）
8	ビンゴ大会 （時短・分散 開催）	2	感染症について学習 （時短・分散開催）
9	トイレについて学習・DVD鑑賞 （時短・分散 開催）	3	カラオケ大会 （分散 開催）

新型コロナウイルス感染症予防のため、感染状況を見ながら分散・時短にて開催。
すべての企画において、厚生労働省の定める感染症対策マニュアルを基に対策、活動。
また、感染症や手洗い方法等について学ぶ機会を設け、利用者さん自身にも感染症から身を守る
過ごし方や危険意識をもってもらえるよう取り組みを行った。

6 希望登園（休日に希望を募って開園する）

月	日	内 容	参加人数	月	日	内 容	参加人数
7	16	大型紙芝居 不動滝（高森町）散策	21名	10	8	りんご狩り そらさんぼ 散策	22名
9	17	染紙ランチョマット作り DVD鑑賞・ドライブ	20名	11	5	柿取り作業	14名

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら可能な形で開催。
（※感染症蔓延時は内容変更や中止等の対策を講じる）

7 ふれあい交流事業

- ・ヤクルトサービス・・・村内の一人暮らしの高齢者宅にヤクルトを届ける。（登録者24件）
※新型コロナウイルス感染症が飯伊圏域で蔓延時には電話対応で実施
- ・ボランティア受け入れ・・・新型コロナウイルス感染症対策を講じ状況を鑑みた上で受け入れ

8 研修・会議

職員会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の様子 ・ケース会議 ・作業班の見直し ・個別支援計画読み合わせ ・ストレスチェック ・感染症の対処、対応方法（新型コロナウイルス含む） ・重度障害支援加算・きずなの活用方法（振り返り含む）・実習受け入れ ・グループワーク（リスクマネジメント、特性を理解するための仮説作り） ・虐待防止チェックリスト「職員セルフチェックリスト」「虐待早期発見チェックリスト」 など
-----	---

その他会議	・グループホーム連絡会 ・こぶしとの合同職員会 ・法人内各種委員会・自立支援部会 など
職員研修	・虐待防止研修「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」 ・強度行動障害研修 など

9 事故等の状況

事故件数	4件（車両関係2件、転倒1件、作業中の怪我1件）
ヒヤリはっと件数	18件（人員確認不足、危険物管理不足 など）
苦情件数	2件（公共トイレ汚れ、送迎時の支援・対応）

◇事故・ひやりはっと 対応

車両による事故報告や人員確認不足による ひやりはっと報告が複数あったため、毎日の小ミーティングや職員会、ケース会議等で、利用者さんの特性の再確認・情報共有・検証等を行うとともに、毎朝のミーティングの中で「安全の一言」を述べ確認する時間を設ける。危機管理の意識を高め事故やケガなどの防止に努める。また、コロナ禍による事業所の一本化に伴い、利用日や日数の変更が多くあり、人員確認や所有物の把握等が多く求められるようになってきた。行方不明、荷物等の紛失とならないよう、常に職員間で情報共有や報連相を行った。

苦情…職員会にて情報収集・状況検証・対策検討等を行い、該当先へ謝罪と再発防止策を伝える。公共トイレの使用に関しては、トイレの使用後の確認、汚れた場合は掃除を行うことを徹底する。また、送迎時の支援・対応に関しては、降園前に（全体）終わりの会を行うことで、容姿・荷物確認を行うとともに、添乗や送迎業務の業務基準書の作成・確認・周知徹底を行う。

◇苦情 内容、処理結果

1、公共トイレの汚れ

内 容：豊丘村役場より、役場内のトイレを使用した際に汚れていることがある。使用後の確認と汚れている場合は清掃してほしい。

処理結果：職員会にて事実確認、再発防止策を協議する。再発防止策として役場トイレを含め公共の場（公衆トイレ、公園等）を借用した際は、使用後の確認を行う。また、汚れがあった場合には清掃することを全職員で確認する。（※公共トイレに掃除用具がある場合は使用可、無い場合は事業所で用意）その旨、謝罪とともに役場へ報告し了承を得る。

2、送迎時の支援・対応不足

内 容：利用者さん保護者より、職員の支援に疑問を感じる。（帰宅時の身だしなみの乱れ、忘れ物等）また、送迎添乗時に座ったまま見送る職員がいる。安全確認含め心配なため改善してほしい。

処理結果：緊急職員会を開催し、上記内容に対する確認と支援の統一を図るべき事項の確認（支援漏れや支援遂行に当たっての課題事項の洗い出しと対策、重点取り組みの決定事項等）を全職員で行う。再発防止策として、降園前に終わりの会（全体）を行い、身だしなみ、荷物確認を多角的に行い、確認漏れを防ぐ。送迎添乗業務の役割を再確認するとともに、業務手順書を作成し、全職員に周知徹底する。

当該保護者へ支援不足に対する謝罪とともに、上記再発防止策をお伝えし了承を得る。

10 その他

★入浴支援（毎日・希望者）

★新型コロナウイルス感染症対策（厚生労働省の定めるマニュアル）

令和4年度 こぶし園・第二こぶし園共同項目

1 行事・希望登園・ボランティア・実習生等受け入れについて

月	平日行事	両園合同希望登園	実習・見学者等受入
4	入園式 新入生1名 始業式		職員実習(1名)
5			
6			飯田養護学校中等部見学(15名)
7	中部公衆健診(8日) 安全祈念の日(20日)		豊丘北保育園訪問(フルパリー贈呈) 豊丘南・中央保育園訪問(フルパリー贈呈) 豊丘中学校福祉体験(3名)
8		盆花販売 (10~12日)	施設見学(2名)
9	内科検診(2日) (8月検診結果からの書面検診)		
10			飯田養護学校高等部見学(2名)
11	福祉大会(15日) インフルエンザ集団接種(24日)	希望登園 柿取り作業	飯田養護学校高等部実習(3名)
12	大掃除・仕事納めの会(28日)		豊丘村日赤奉仕団慰問
1	初詣・仕事始めの会(4日)		
2			社会福祉士養成実習(2名) 養護学校高等部見学・実習(1名)
3	修了式(30日) 次年度準備のため休園(31日)		施設見学(3名)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、各行事(園旅行、こぶしまつりなど)の中止

※新型コロナウイルス感染症が飯伊圏域にて蔓延時は実習、見学等の受け入れの中止・延期

2 研修会など

- ・安全運転管理者研修
- ・長野県知的障がい福祉協会主催の研修
- ・虐待防止・権利擁護 Web 研修
- ・南信施設長会
- ・代表者会

3 会議等

①合同職員会(事業所内)

- ・各班事業計画・予算・事業報告・決算
- ・新型コロナウイルスの対応について
- ・実習生受け入れについて
- ・今後の課題解決に向けて
- ・新年度の体制

②支援向上小委員会（事業所内・月1回の開催）

- ・支援力向上リーダー会・コミュニケーション委員会・時間効率化委員会　・空間・美化委員会

③法人内各種委員会・会議への参加

- ・グループホーム連絡会　・ケア会議　・企画会議（管理者）
- ・運営会議（管理者・牝管）　・安全衛生委員会　・虐待防止委員会
- ・研修委員会　・広報委員会

④法人外会議等

- ・各支援会議　・実習打ち合わせ　・企業打ち合わせ

4 寄付

- ・豊丘村（マスク・使い捨て手袋・検査キット）
- ・豊丘村経営者協会（味噌・トイレトペーパー）
- ・日赤奉仕団歳末慰問（タオル・寄附金）
- ・イオン黄色いレシートキャンペーン（寝具、衣類他）
- ・天恵製菓様（お菓子）
- ・豊かな丘様（野菜）
- ・下島様（ジュース）
- ・福沢様（大型扇風機・コンテナ他）
- ・池内様・稲葉様・金田様・佐々木様・久保田様・渋谷様・中原様・筒井様・原様・林様・吉川様・渡辺様（各種果物等の寄付）

5 修繕・購入

エアコン取付工事（作業等・青年の館）
園庭の舗装
ガラスハウスの漏水工事
まき現場パイプハウスの修繕
マキ割り機修理

6 その他

- 誕生日献立（毎月1回）
- ほけんだより（随時）
- 新入利用者移行支援会議
- こぶし便り（毎月発行）
- 夕方マイクロバス添乗（毎日）
- 相談支援会議　・保護者会、母の会への協力

令和4年度 グループホーム事業報告

1. 利用者定員・利用者状況（R5.3.31 現在）

ホーム名	ゆうハウス こぶし	さんらいず	いちょう	小川ハイツ	はびねす	パワー すぽっと	合 計
定 員	7名	7名	5名	5名	4名	2名	30名
入居者数	7名	7名	3名	5名	4名	2名	28名
性 別	男性4名 女性3名	男性3名 女性4名	男性1名 女性2名	男性3名 女性2名	男性2名 女性2名	男性2名	男性15名 女性13名
延べ利用 数	1,993日	2,340日	676日	1,301日	1,066日	505日	7,881日

出身市町村	障害支援区分	年 齢
飯田市（13名）	区分2（2名）	20代（4名）
豊丘村（5名）	区分3（9名）	30代（4名）
喬木村（5名）	区分4（10名）	40代（6名）
松川町（4名）	区分5（3名）	50代（4名）
大鹿村（1名）	区分6（4名）	60代（6名）
	平均区分（3.93）	70代（4名）
		平均年齢45.7歳

日中活動…こぶし会事業所利用者16人、こぶし会+他事業所利用者7人（うち介護保険施設利用者4名）、他事業所利用者5人

2. 職員配置

・管理者（他事業所兼務）	1人
・サービス管理責任者	1人
・看護師	1人
・世話人（他事業所兼務）	22人
・生活支援員（配置基準に沿って配置、世話人兼務を含む）	配置基準以上

3. 事業実施内容

種 類	内 容
食事の提供	・ 栄養と身体状況に応じた献立表を作成し提供した。 朝食7時～ 昼食12時～ 夕食18時～（季節に応じて）
日常生活上の支援	・ 衣類の着脱・歯磨き・入浴等、利用者の日常生活上の必要部分を支援した。
健康・安全管理	・ 常時、健康観察を行い、毎朝の検温・血圧測定と入浴前の検温・血圧測定の実施を徹底した。 ・ 月に1度の体重測定を徹底した。 ・ 緊急時は、主治医又は協力医療機関を受診した。

服薬管理	・ 利用者または保護者からの依頼により、看護師が薬のセットを行ない、世話人が服薬できたことを確認した。
通院治療	・ 定期通院時、看護師・サビ管が同行し医療機関との連携を図った。
生活上の相談及び援助	・ 利用者及び保護者からの相談について、誠意を持って応じ可能な限り必要な援助を行った。
余暇活動の支援	・ 個別で外出の希望がある時は移動支援のサービスを利用し外出を行った。
地域との交流支援	・ 地区の井ざらい作業に参加した。
手続き代行	・ 行政機関に対する手続きの代行を行った。

4 行事・活動等

<合同余暇活動>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※その他 誕生日会・食事会などはホームごとで開催

<保護者座談会兼大掃除>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

<防災訓練>

実施日	内 容	備 考
7月 13日 (火災)	小川ハイツ・さんらいず・いちよう・はびねす・パワーすぽっとヘルパーステーション、グース合同訓練	
10月 31日 (地震)	さんらいず・小川ハイツ・いちよう・はびねす・パワーすぽっとヘルパーステーション、グース合同訓練	

5 研修・連絡会

<職員研修>

- ・ 飯伊圏域グループホームサービス管理責任者連絡会

<世話人研修>

- ・ 虐待防止研修 (9月) 「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」
- ・ 虐待防止チェックリスト (11月) 「職員セルフチェックリスト」
「虐待早期発見チェックリスト」
- ・ 飯伊圏域世話人研修 (1月) 「リフレーミング(言い換え)について学ぶ」
- ・ DVD教材による研修 (3月) 「この子と生きる～ダウン症・命の記録～」

<連絡会>

- ・ グループホーム連絡会：グループホームごと、毎月開催

6. 事故、ひやりはっと、苦情 報告件数

事故件数	4件	服薬確認不足
ひやりはっと件数	20件	転倒、不穏時他害、所在不明、飛び出し、利用事業所間違え
苦情	0件	

7 重要事項報告

<グループホーム 1カ所新築>

豊丘中学校東側にグループホームを新築しました。

土地は、職員駐車場 461 ㎡を宅地として地目変更し、10月28日に地鎮祭を行い、広さ 158.99 ㎡のグループホームだんきゅうが令和5年3月22日に完成しました。

建物は、木造合金メッキ鋼板ぶき平家建て 居室5と世話人室1、各部屋の周りはぐるっと通り抜け出来るベランダになっており、自立の一環として各自で洗濯物が干せること、また防災の観点からベランダから避難できることも配慮した設計になっています。

建設中は、コロナの影響で材料が入ってこない、また人工が集まらないなどが懸念されましたが、雨や雪も例年より少なく、天候にも恵まれすべて順調に進み予定通り完成しました。

事業費は、自己資金で51,018,440円。開始は、令和5年7月1日を予定しています。

令和4年度グループホーム空床利用型短期入所 事業報告

1. 開設日

利用希望日

2. 利用状況

受け入れ利用者数と泊数

月	4	5	6	7	8	9
利用泊数	6泊	8泊	6泊	10泊	6泊	9泊
月	10	11	12	1	2	3
利用泊数	26泊	22泊	20泊	1泊	7泊	10泊

年間総合計数

泊数	131泊
利用者人数	28名

3. 職員配置

グループホームと同じ

4. 事業実施内容

グループホームと同じ

5. 行事・活動

グループホームと同じ

6. 研修・連絡会

グループホームと同じ

7. 事故、ひやりはっと、苦情 報告件数

なし

令和4年度 居宅介護等事業所 ヘルパーステーション小川事業報告

1. 開設日・定休日等

- 〈開設日〉 月～土…08:30～17:30 (通常)
 日、祝日…利用者の要望により開業
 〈休業日〉 盆、正月…暦による変動もあるが基本的に休業

2. 利用状況

開設日および利用者数

(単位：回)

月	4	5	6	7	8	9
開設日数	30	31	30	31	31	30
居宅	138	142	129	144	96	135
移動支援	217	228	204	213	138	202
行動援護	68	68	72	67	53	71
タイムケア	0	0	0	0	0	0
のべ利用回数	423	438	405	424	287	408
月	10	11	12	1	2	3
開設日数	31	30	31	29	28	31
居宅	136	127	135	126	109	149
移動支援	221	172	200	184	216	210
行動援護	71	58	48	49	58	68
タイムケア	0	0	0	0	0	0
のべ利用回数	428	357	383	359	383	427

年間総合計数

開設日数	363日(365日中)
のべ利用回数	4,722回

○飯田下伊那のコロナ感染状況を見ながら、他法人と連携を取りながら支援しました。

3. 職員配置

管理者	1名	介護福祉士 社会福祉士	常勤 常勤 (育休中)
サービス提供責任者	1名	介護職員初任者研修 (旧ヘルパー2級) 行動援護従事者 強度行動障害支援者 看護師 保育士など	常勤・非常勤 兼務
事務員	2名		
ヘルパー	13名		
	26名		
看護師	1名		

4. 年間支援行事・会議・研修・ひやりはっと・苦情 件数・事故件数

月	支援・行事内容	会議・研修	ひやりはっと	事故
4	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム連絡会 広報委員会 利用者ケア会議 	1	0
5	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 法人監査会 理事 評議員会 グループホーム連絡会 安全衛生委員会・広報委員会 利用者ケア会議 地震避難訓練 	1	0
6	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム連絡会 安全衛生委員会 利用者ケア会議 	1	0
7	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム連絡会 安全衛生委員会・広報委員会 利用者ケア会議 	0	1
8	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム連絡会 安全衛生委員会・広報委員会 SONN 運営会議 利用者ケア会議 	0	0
9	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 行動援護(夕方見守りを含む) 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ケア会議 グループホーム連絡会 防災訓練 安全衛生委員会 メンタルヘルス 虐待防止研修 「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」 	1	0

10	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会 ・人権倫理委員会・広報委員会 ・安全衛生委員会 ・利用者ケア会議 	1	0
11	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーST スタッフ会議 ・グループホーム連絡会 ・空所利用検討会 ・広報委員会・人権倫理委員会 ・安全衛生委員会 ・利用者ケア会議 ・虐待防止チェックリスト 「職員セルフチェックリスト」 「虐待早期発見チェックリスト」 	0	0
12	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 ・大掃除 ・年末休業 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会 ・利用者ケア会議 	0	0
1	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 ・年始休業 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会 ・利用者ケア会議 	0	0
2	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会 ・安全衛生委員会 ・利用者ケア会議 	0	0
3	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護(夕方見守りを含む) ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議委員会 ・グループホーム連絡会 ・安全衛生委員会 ・利用者ケア会議 	0	0
年間合計		ひやりはっと・事故	5	1
		苦情	0	

- ・ひやりはっとの内容：支援時間間違え、支援計画外の支援をしてしまい人混みの中に行ってしまう、私有地へ駐車して注意を受ける など
- ・事故内容：骨折 1 件

5. その他 ※すけっとと統合

6. 施設設備等 なし

7. 新型コロナに関する助成金 なし

令和4年度 短期入所事業所 ぐーすか家事業報告

1. 開設日・定休日等

〈開設日〉 下記以外…16:30又は18:30～翌09:00 (通常)
 〈休業日〉 盆、正月…暦による変動もあるが基本的に休業

2. 利用状況

受け入れ利用者数と泊数

月	4	5	6	7	8	9
利用泊数	2泊	2泊	5泊	6泊	3泊	3泊
利用者人数	1名	1名	4名	3名	2名	2名
のべ利用者 人数/日数	1名2泊	1名2泊	4名5泊	3名6泊	2名3泊	2名3泊
月	10	11	12	1	2	3
利用泊数	5泊	3泊	4泊	2泊	5泊	8泊
利用者人数	4名	2名	3名	2名	2名	5名
のべ利用者 人数/日数	4名5泊	2名3泊	3名4泊	2名2泊	3名5泊	5名8泊

年間総合計数

日数	48泊
年間のべ利用者人数	32名

※飯田下伊那のコロナ感染状況を見ながら、他法人と連携しながら支援しました。

3. 職員配置

ヘルパーステーションと同じ

4. 事業実施内容

ヘルパーステーションと同じ

5. 行事・活動

ヘルパーステーションと同じ

6. 研修・連絡会

ヘルパーステーションと同じ

7. 事故、ヒヤリハット、苦情、研修 報告 なし

8. その他

令和4年度 ユアサポートぽっぽ事業報告

生活介護事業

1 利用者・開所日数 状況

(R 5.3.31 現在)

利用者数	支援区分	平均年齢	出身市町村
生活介護（定員20名） 【登録者数】 男性19名・女性26名 合計 45名 内実利用者数 男15名・女19名 合計34名	区分2 0名 区分3 12名 区分4 10名 区分5 9名 区分6 14名 平均障害支援区分4.6	男性50歳 女性52歳 全体51歳	飯田市18名、松本市1名 塩尻市1名、飯島町1名 松川町1名、中川村2名 高森町2名、阿智村2名、 喬木村7名、豊丘村7名、 大鹿村2名、天龍村1名
タイムケア 【登録者数】 男性6名・女性3名 合計 9名			飯田市 6名 喬木村、豊丘村、飯島町 各1名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	23	24	24	23	219	24
延べ利用者数	385	382	404	357	226	399
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	22	23	23	22	22	25
延べ利用者数	362	348	363	366	340	410

開所日数	274日
延べ利用者数	4,342人
1日平均利用者数	15.8人

○令和4年度も新型コロナウイルス対策として一部利用者さんの利用中止、複数事業所利用者さんの利用事業所の一本化など利用の調整を行いました。

○7月末～8月（6日間）に施設内にてコロナ感染があり施設閉鎖する。翌週の一週間も少ない人数での開所となる。

2 職員体制

管理者（常勤、生活支援員兼務）	1名
サービス管理責任者（常勤）	1名
看護師（非常勤、生活支援員兼務）	2名
生活支援員（常勤3名、非常勤3名、非常勤兼務4名）	10名
送迎スタッフ	2名

3 行事・会議・研修・事故、ひやりはっと件数

月	行事内容	会議・研修	事故	ひやりはっと
4	歓迎会、お花見ドライブ ぽっぽあーと展（夢、ゆめあるて）	スタッフ会議：基本理念等読み合わせ、安心安全の留意点の確認	1	5

5	藤見学ドライブ、お昼カレー作り サンスポート運動教室 ぽっぽあーと展（みちばたのたんぼぼ）	スタッフ会義：手帳と制度について 強度行動障害研修	0	1
6	あーと見学昼食会、プチブーケ作り ぽっぽあーと展（みちばたのたんぼぼ、 ミュー自然美術館）	スタッフ会義：強度行動障害研修 報告	0	3
7	七夕飾り、健康診断 お昼うどん作り、市役所販売 ぽっぽあーと展（喬木郵便局）	スタッフ会義	1	1
8	清涼ドライブ りんご狩り	スタッフ会義：安全運転管理者研 修報告	0	1
9	防災訓練、りんご狩り、みんなでレク （頭の体操）、ぽっぽまつり、獅子舞い を楽しもう ぽっぽあーと展（七和の里おひさまカ フェ、飯田駅前ムトスぷらざ）	スタッフ会義：虐待防止・身体拘 束等整備内容の理解研修	0	0
10	サンスポート運動教室、おはぎ作り、 五平餅会、美博見学 ぽっぽあーと展（飯田市美術博物館市 民ギャラリー）	スタッフ会義： 強度行動障害研修	1	3
11	紅葉ドライブ食事会、焼き芋大会、お 昼お好み焼き作り、合庁販売 ぽっぽあーと展（喬木村文化展、かざ こしの里）	スタッフ会義：強度行動障害研修 報告 職員セルフチェックリスト、 虐待早期発見チェックリスト	0	8
12	クリスマス会、大掃除 ぽっぽあーと展（笑みの里、ほかほか あーと）	スタッフ会義	1	4
1	新年度、初詣、お正月あそび、書初め みんなでレク	スタッフ会義：基本理念等読み合 わせ	0	5
2	節分、バレンタインデー、ネイルをた のしもう	スタッフ会義：感染症対策につい て	0	1
3	防災訓練、ホワイトデー、ぼた餅り、 ひな祭り ぽっぽあーと（創造館）	スタッフ会義：「人権」「倫理」に ついての研修	1	4
事故、ひやりはっと合計			5	36

○ぽっぽだより発行（毎月）

※事故5件の内容：車両自損事故（4）、転倒し受診（1）

※ひやりはっとの内容：転倒（8）、発作による転倒・安全確保（3）、転倒の可能性あり（5）
服薬関係（3）、危険回避困難（4）、短時間の所在不明（2）
異食（3）、誤嚥（1）、物を投げる（2）、環境整備不足（1）
接触（2）、車関係（2）
衛生的安全確認不足（3）、その他確認不足（3）

※苦情 0件数

4 日中活動

<ul style="list-style-type: none"> • 生産活動（箱折り、裁縫製品） • 創作（墨あそび、絵、ぬり絵、折り紙、裁縫） • 音楽活動（講師によるうたのコンサート、カラオケ） • 健康運動（講師による運動・リズム体操、朝の体操 散歩、ウォーキング、卓球 ミニボーリング、スカットボール） • 料理（誕生日、四季の行事・おやつ作り等） • 誕生日会 • ぽっぽシアター • みんなのはなしあい（月1回） • 買い物外出 • 図書館 • ネイルを楽しもう • 創作（絵手紙、壁画作り等） • ぽっぽあーと展示・見学 	◎講師	
	音楽	1名
	健康運動	2名
	ネイル	2名

5 健康管理

<ul style="list-style-type: none"> • バイタルチェック（受入れ時） • 感染症対策 • 体重測定（毎月） • 通院、健康診断（希望者） • 入浴

6 その他

- 新型コロナウイルス対策として、座席の調整、テーブル・手すり等のアルコール消毒、マスク着用をお願い、換気の徹底、湿度管理等を実施継続。
- 軽自動車（アルト）を購入（7月）

令和4年度 指定放課後等デイサービス グース事業報告

1. 開設日・定休日等

開設日・開設時間 …… 平日 15:00~18:30

土・長期休み 9:00~15:00

*利用定員10名/1日

*希望者 送迎

*タイムケア事業

休業日 …… 祝日、日曜日/お盆4日間程度/年末年始7日程度

2. 登録状況

令和5年3月17日現在

年齢別 (人)		性別 (人)		障がいの種類 (人)	
小学生	12	男性	14	知的・発達障がい	15
中学生	3	女性	5	肢体不自由	4
高校生	4	* 飯田養護学校 14名			
計	19	花田養護学校 1名			
		普通学校支援学級 4名			

3. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9
開設日数	20	20	22	21	16	20
のべ利用者数(人)	133	152	152	156	103	146
月	10	11	12	1	2	3
開設日数	21	21	21	18	19	23
のべ利用者数	156	150	168	138	159	184

年間総合計数	
開設日数	242日
のべ利用者数	1,797人
1日平均利用者数	7.4人

※新型コロナウイルスに加え、年度後半にはインフルエンザの流行も伴い、法人や学校の閉鎖など子どもたちを取り巻く環境も様々な感染症の広がりの波により、大きく影響を受ける年であった。前年度に引き続き、恒例だった大きなイベントや集まりを控えての一年だったが、感染者数の状況や国の対策の緩和に伴い、年度後半には活動の幅も徐々に広がりつつあります。

4. 職員配置

管理者（児童発達支援管理責任者兼務）			1名
児童発達支援管理責任者	常勤	ヘルパー2級	1名
保育士	常勤		1名
看護師	非常勤 他事業所兼務		10名
保育士			
介護福祉士			
児童指導員			
児童指導員サポーター			2名

5. 年間行事・会議・研修会等・事故件数・ひやりはっと・苦情件数

月	行事内容	会議・研修等	事故・けが件数
			ひやりはっと件数
4		・スタッフ会議	1
			0
5		・こども部会（リモート）	0
			4
6			0
			1
7	～学校夏休み期間～ 川遊び 公園	・避難訓練（火災） ・こども部会（リモート）	0
			0
8	～学校夏休み期間～ 川遊び 公園		0
			0
9		・実地指導 ・虐待防止研修会 ・ストレスチェック ・スタッフ会議	0
			0
10		・日頃の支援体制に向けての 打ち合わせ ・スタッフ会議 ・こども部会ズーム研修 ・避難訓練（地震）	0
			3
11		・こども部会ズーム研修 ・虐待防止チェックリスト	0
			1
12	ミニクリスマス会 ～学校冬休み期間～ 年末大掃除	・スタッフ会議 ・こども部会（リモート）	0
			1
1		・スタッフ会議	0
			0
2	節分	・実習生受け入れ	0

		<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校放デイ連絡会 ・こども部会（書面） ・スタッフ会議 	2
3	卒業・進級パーティ ～学校春休み期間～ 体育館活動 遠出外出	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表配布 ・スタッフ会議 	1
			0
		事 故	2
		ひやりはっと	11
		苦 情	0

*事故・けが・ひやりはっと（主な内容）・苦情・機具等破損

内 容	件数	詳 細
事故 (車両・交通関係)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校迎え時、利用者さんが乗車した際に車体が下がり助手席側のドアの下側を階段にこすってしまう。 ・自宅送迎時、利用者さんを降ろし駐車場で切り替えした際に、ブロック塀に右後輪が接触、ホイールカバーと車体が損傷する。
事故（転倒）	0	
ひやりはっと	11	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅送迎時、助手席から降りた利用者さんが自宅に入ると思っていたら、送迎車の後ろを回って母の元へ行こうとして車道側を通り、その直後車が通過する。 ・外活動（魚取り）に出た利用者さんが、思う様に獲れなかったこともあり一旦グースに戻るが気持ちがおさまらず支援員の手を離さなくなり、エスカレートして支援員に覆いかぶさる。 ・グースホール内の青マット上で友達と過ごしていた際、後ろに寝転んだ時に隣にあったトランポリンの角で後頭部を打つ。 ・利用者さんが突然、グースの裏口の鍵を開けて裸足で出て行ってしまった。 ・外活動から戻った際、センター駐車場に車を停車しようとバックしていた時、突然後部座席に乗っていた利用者さんがドアのロックを解除して開けようとした。 ・学校迎えの車中からズボンの中をしきりと気にしていた利用者さんが、グースに入り畳コーナーに行って自分の下着を引っ張り破いてしまった。 ・普段から気になり強い刺激をしがちな利用者さんが、対象の方に向かって走って来て押してしまい、押された利用者さんは尻もちをつき後頭部を壁にぶつけてしまった。 ・公園に行き、帰る為に駐車場に戻るがすぐに乗車できず車道の方まで勢いよく走り出してまう。 ・畳の部屋で、いつものように座布団に横になりくつろいでいたが、落ちていたクリップを広げてコンセントに刺してしまった。 ・センター玄関の方から声が聞こえて行ってみると、利用者さんが外に出たくて玄関で靴を履いていた。 ・水路に魚取りに行った際、大きな魚を見つけて、逃がしたくない思いからモリを水路に投げ捨ててしまった。
機具等破損	0	
苦 情	0	

6. その他

◇ ダックリン通信発行

令和4年度 パドルダッククラブ事業報告

1. 開設日・定休日

＜開設日＞月～金（祝日を除く・長期休暇含む）

児童発達支援事業・長期休み 9：00～15：00

保育所等訪問事業・居宅訪問型児童発達支援事業

放課後等デイサービス事業 15：00～18:00

＜定休日＞土・日曜日 / お盆4日間 / 年末年始5日間

2. 利用者状況・職員体制・利用日数状況

＜利用者状況＞

*定員は児童発達支援事業と放課後等デイサービス合わせて10名

(1) 児童発達支援事業 登録 6 名 (令和5年3月末)

年齢	利用者数	男	女
1歳	1	0	1
2歳	0	0	0
3歳	3	1	2
4歳	1	0	1
5歳	1	0	1

(2) 放課後等デイサービス 登録 26 名 (令和5年3月末)

障害の種類	利用者数	男	女
知的障がい	1	1	0
発達障がい	4	4	0
肢体不自由	9	4	5
重心医療的ケア	11	4	7

(3) 保育所等訪問事業 登録 3 名 (令和5年3月末)

障害の種類	利用者数	男	女
知的障がい	3	1	2
発達障がい	1	1	0

(4) 居宅訪問型児童発達支援事業 登録 5 名 (令和5年3月末)

障害の種類	利用者数	男	女
肢体不自由			
重心医療的ケア	5		5

<職員体制>

管理者	1	介護福祉士	1
児童発達支援管理責任者	1	児童指導員	1
保育士	2	看護師	3
ヘルパー	1		

<利用日数状況>

月	4	5	6	7	8	9
開設日数 放デイ 児発	20 (20)	19 (19)	22 (22)	18 (18)	14 (14)	20 (20)
延べ利用者(放)	133	134	177	124	85	146
// (児)	17	15	23	20	11	20
// (訪問型)	4	5	7	6	7	12
// (保育所等)	0	0	0	0	0	0
月	10	11	12	1	2	3
開設日数	20 (20)	21 (21)	20 (20)	18 (18)	19 (19)	22 (22)
延べ利用者(放)	150	109	139	122	162	140
// (児)	18	15	17	14	18	20
// (訪問型)	11	11	14	12	9	12
// (保育所等)	0	0	0	0	0	0

<開設日> 233日 (児童発達233日) <延べ利用者数>放・1,621人 児童・208人

訪問型・110人 保育所・0人 <1日平均利用人数> 放・6.9人 児童・0.8人

◎7月28日～8月5日、コロナ感染拡大の為事業所閉所

◎コロナ感染予防で利用を控える家庭が多かった、学級閉鎖の為事業所を利用することができなかった

3. 活動状況・ひやりはっと・苦情 報告

月	活動内容 (児童発達)	活動内容 (放課後デイ)	会議・研修等	ひやり はっと
4	<ul style="list-style-type: none"> お花見 小麦粉粘土 公園 制作(母の日、父の日、こいのぼり) 散歩 	<ul style="list-style-type: none"> 春休み(公園、図書館) 図書館 宿題 足湯 散歩 カードゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議 	0
5			<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議 こども部会 くらし部会 利用者満足度アンケート実施 	2
6			<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議 研修(発達障がいの理解とその支援) 	1
7	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び 製作(折り紙、壁面装飾、敬老の) 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題 夏休み(夏祭り、DVD鑑賞、かんてんぱぱ、足湯) 	<ul style="list-style-type: none"> こども部会 養護学校1年生支援会議 くらし部会 	0

8	日) ・夏祭り ・図書館	・ザリガニ取り ・ボードゲーム ・避難訓練	・養護学校 1 年生支援会議	2
9	・シャボン玉 ・あったかテラス		・くらし部会 ・虐待防止研修 (虐待防止・身体拘束等整備 内容の理解)	0
10	・絵本 ・公園 ・散歩 ・製作(年賀状、ク リスマスリース、 折り紙)	・宿題 ・おやつ作り ・足湯 ・製作(年賀状) ・パズル ・カードゲーム	・スタッフ会議 ・こども部会	0
11	・電車遠足		・自立支援協議会合同研修 ・呼吸器についての研修 ・虐待防止チェックリスト (職員セルフチェックリス ト・虐待早期発見チェックリ スト)	0
12			・スタッフ会議	3
1	・公園 ・元善光寺へお参り	・宿題 ・図書館		0
2	・製作(手形、足 形、お雛様) ・散歩	・公園 ・春休み(お雛様見学、電車 に乗る、外食体験、喬木村 児童クラブとの交流会) ・足湯	・スタッフ会議 ・研修(医療的ケア児の生活 を考える)	3 事故 1
3			・スタッフ会議 ・くらし部会	1

・スタッフ会議、研修等はアイビスと合同で行いました

4. 事故等の状況

事故件数	1 件
ひやりはっと件数	12 件(カーペットにつまづき転ぶ、事業所のパルスオキシメーターを利用者の かばんに間違えて入れそのまま帰宅、公用車の鍵を持ち帰る等)
苦情	0 件

5. 重要事項報告

パドルダッククラブの建物は、ごく一般の住宅を借りて支援を行って来ました。一般住宅のため、支援を行う上で不便な面もある一方で、庭付きの普通の住宅なので、利用者さん、そして保護者の皆さんにとっても心安らく場になっていました。このため、サービス向上に繋げる目的で、賃貸から法人所有にしたいとして理事会に提案しました。

建物は、昭和 62 年 12 月に新築されたもので、築 35 年経過しています。賃貸契約から売買契約を令和 5 年 3 月に行い、宅地 296.82 m²を 8,198,000 円、建物 木造瓦葺平家建 98.54 m²を 4,000,000 円、合計 12,198,000 円を自己資金により購入しました。

今後、使いやすい施設に改修して、利用者さんにより良い環境で支援を行えるように準備を進めて行きます。

令和4年度 アイビス事業報告

1. 開設日・定休日

〈開設日〉月～土（祝日を除く・長期休暇含む）

平日 15時～18時30分 休日 9時～15時

〈定休日〉日曜日・祝日 / お盆4日間 / 年末年始5日間

2. 利用者状況・職員体制・活動内容

〈利用状況〉 休止の人は除く 放課後デイサービス 定員10名
登録 19人（R5.3月末）

障がいの種類	（登録人数）
知的障がい、染色体異常など	8
発達障がい	11
肢体不自由	0
計	19

〈職員体制〉

管理責任者 1名 / 保育士 2名 / 児童指導員 6名

〈活動内容〉

月	活動内容	会議・研修等	ひやりはっと
4月	・春休み（公園、丘の上スタンプラリー、足湯）	・スタッフ会議	1
5月	・おやつ買い物 ・図書館 ・カードゲーム、ボードゲーム	・スタッフ会議 ・利用者満足度アンケート実施 ・こども部会 ・くらし部会	1
6月		・スタッフ会議 ・研修（発達障がいの理解とその支援）	3
7月	・夏休み（夏祭り、DVD鑑賞、足湯かんでんぱぱ） ・公園 ・図書館	・養護学校1年生支援会議 ・こども部会 ・くらし部会	1
8月	・ザリガニ取り ・避難訓練 ・奉仕活動	・養護学校1年生支援会議	0
9月		・くらし部会 ・虐待防止研修 （虐待防止・身体拘束等整備内容の理解）	0

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・公園 ・アイロンビーズ ・ボーリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議 ・こども部会 	0
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・カードゲーム ・制作（年賀状） ・職員の手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会合同研修 ・呼吸器についての研修 ・虐待防止チェックリスト （職員セルフチェックリスト・虐待早期発見チェックリスト） 	1
12月		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議 ・児童発達支援管理責任者更新研修 	1
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み（大掃除） ・図書館 		0
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の手伝い ・春休み（公園、お雛様見学、丘の上スタンプラリー、電車に乗る、外食体験、喬木村児童クラブとの交流会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議 ・研修（医療的ケア児の生活を考える） 	1
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議 ・くらし部会 	0

- ・スタッフ会議はパドルダックと合同で行いました
- ・日々の活動は、宿題のあと利用者さんが自分で決めています

〈利用日数状況〉

月	4	5	6	7	8	9
開設日数	20	19	22	18	14	20
述べ利用者数	123	141	154	126	69	140
月	10	11	12	1	2	3
開設日数	20	21	21	18	19	22
述べ利用者数	147	113	130	125	143	165

〈開設日〉 233日 〈述べ利用者数〉 1,576人（1日平均 約6.7人）

◎7月28日～8月5日、コロナ感染拡大の為事業所閉鎖

◎コロナ感染予防で利用を控える家庭が多かった、学級閉鎖の為事業所を利用することができなかった

3. 事故等の状況

事故件数	0件
ひやりはっと件数	9件（迎えを忘れる、アイビス外階段が雨で濡れていて滑り尻もちをつく等）
苦情	0件

4. 運営方針に基づく令和4年度 検討・実施内容

- 自立生活の目標 幼児→母以外の支援、サービスを受ける計画
児童・生徒→友達関係の体験、活動、進路懇談会、家族の役割
成人→日中活動・余暇活動・グループホーム・地域生活支援
- サービス提供の総合的かつ効率的提供の為に関係機関との連携
※4年度もJICAの影響で、状況に応じて会議の開催や訪問を
リモートや電話で行ない、情報収集や支援の内容などの模索をした
幼児→家庭支援・母支援兄弟姉妹支援・医療との連携など
児童・生徒→学校支援会議・中高生の実習支援・医療との連携など
成人→家庭・事業所・グループホーム・NPO・ステーション(夕方・土日曜)・
医療・ケアマネとの連携・認定調査情報提供など
- サービス事業者選択を公正中立の立場で支援
居住地の日常生活が円滑になる選択
アセスメントを積み重ね、本人の意思確認を大切に支援
- 地域資源の改善、開発
圏域の自立支援協議会に所属し、地域の課題の検討（医ケアが必要な方の日
中事業所の模索、働きかけを継続して行ない共生型などの新規事業所の利用
が可能になってきた）
- 福祉関係大学生等の実習受入れ
大学との連携による福祉に関する養成課程における実習の受け入れ準備、窓
口、指導を担当
- 相談支援専門員の研修
連絡会を開催：4、5、10、1、3月(4年度も勉強会を含む)
・あのねっとこぶし内のケースの把握、検討、情報共有、
虐待防止研修：9月
「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」
虐待防止チェックリスト：11月
「職員セルフチェックリスト」
「虐待早期発見チェックリスト」
自立支援協議会人材育成部会
・相談支援専門員の会：7月、10月、12月(今年度は集合による参加)
・専門研修会：8月「サービス等利用計画と個別支援計画の連動性について」
11月「発達特性のある子の学齢期での生活支援を考える」
現任研修：11月～2月実施 3名参加
その他、個別で研修に参加

令和4年度 法人本部事業報告

1、会議等の開催

会議名	開催日	主 な 内 容
定時評議員会	6月17日	令和3年度事業報告 令和3年度決算書類・財産目録（監査報告）の承認 令和4年度補正予算第1号
第1回 臨時評議員会	10月27日	令和4年度補正予算第2号
第2回 臨時評議員会	2月14日	令和4年度追加・変更事業計画（社会福祉士等実習生受入） 令和4年度補正予算第3号
第3回 臨時評議員会	3月24日	令和4年度補正予算第4号 令和5年度事業計画 令和5年度当初予算 中期計画
第1回理事会	5月27日	令和3年度事業報告 令和3年度決算の承認<監査報告> 令和4年度補正予算第1号 委員会設置規程の一部改正 運営規程の一部改正 虐待防止委員会規程の制定 虐待事案確認委員会設置要綱を廃止する要綱 こぶし園 園庭舗装工事請負契約の締結 グース利用者送迎車両購入契約の締結 苦情解決第三者委員の選任 令和4年定時評議員会の開催決議 定款第17条第4項による理事長の法人執行状況報告
第2回理事会	9月20日	新グループホーム建設に関する説明 ・建物の概要（説明者補助（株）桂建築設計事務所 副社長） ・行程スケジュール、建設工事契約締結方法（入札等） 「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の支給に関する規程」の制定 苦情解決第三委員規程の一部改正
第3回理事会	9月28日	グループホーム建設の入札及び契約手続きについて
第4回理事会	10月18日	令和4年度補正予算第2号 グループホーム建設工事に関する設計監理業務の委託契約締結 グループホーム建設工事請負契約の締結 令和4年度第1回臨時評議員会開催の決議 定款第17条第4項による理事長の法人執行状況報告

第5回理事会	1月30日	令和4年度追加・変更事業計画（社会福祉士等実習生受入） 令和4年度補正予算第3号 経理規程の一部改正 委員会設置規程の一部改正 実習受入委員会規程の制定 実習生等受入規程の制定 実習受入マニュアル作成 パドルダッククラブ土地建物売買契約の締結（保留） 第2回臨時評議員会開催決議 実地指導及び一般指導監査実施結果報告
第6回理事会	3月2日	パドルダッククラブ土地建物売買契約の締結（再提案）
第7回理事会	3月16日	令和4年度補正予算第4号 令和5年度事業計画 令和5年度当初予算 中期計画 「育児・介護休業等に関する規程」の制定について 就業規則の一部改正について 管理者の解任及び選任について 令和4年度第3回臨時評議員会の開催決議について 定款第17条第4項による理事長の法人執行状況報告 人事異動報告 サービス管理責任者、サービス提供管理責任者、児童発達支援管理責任者
監査会	5月27日	令和3年度事業並びに決算監査
企画会議	随時	開催回数 14回 ※7月末に法人内2事業所から感染者が確認されたため、 7/29（金）～8/7（日）まで法人全体を閉鎖措置 対応・対策を話し合う
事業・業務名		主 な 内 容
職員管理		<ul style="list-style-type: none"> 常勤及び非常勤職員の年次有給休暇で10日以上与えられた職員に対して、付与日から1年以内に5日の取得の管理 法改正により、義務化となる事項（令和4年度からは、虐待防止及び身体拘束）を周知
健康管理		<ul style="list-style-type: none"> 年1回 健康診断 ストレスチェックの実施
福利厚生等		健康保険、年金、退職金、労働保険
給与・賞与		支給及び預り金管理

実習受入委員会

1. 目的

大学との連携による、福祉に関する養成課程の実習生を受け入れることにより、当法人が利用者・家族等の福祉の向上や地域福祉の拠点として社会的に開かれた社会資源であることを示し、また、人材育成、福祉関係の新卒者採用に繋げ、各事業所が、福祉サービスの質を向上させ経営の安定を図るために、養成校等との連携・協力体制を構築していくことを目的とする。

2. 事業内容

開催日	内容（協議事項）
第1回委員会 R5.1.23	受入れ規程等の整備 実習受入れの目的、流れ、内容、実習生の確認
第2回委員会 (実習報告会①) R5.2.15	実習生の報告会 委員会のメンバーよりコメント
第3回委員会 (実習報告会②) R5.3.2	実習生の報告会 委員会のメンバーよりコメント
	実習受入れ反省、まとめ（実習日誌確認等）

3. 受け入れ状況

令和5年2月～3月 日本福祉大学 社会福祉学部2年生 3名
各60時間のソーシャルワーク実習

安全衛生委員会

1. 目的

信濃こぶし会に関わる全ての利用者・職員が「安心・安全な生活が送れる」「安心・安全に働くことができる」を目指し、労働安全衛生法に基づき、安全・衛生・健康に関する事項について、労働災害防止の取り組みを労使一体となり、調査審議を行うことを目的とする。

2. 事業内容

開催日	内容（協議事項）
第1回委員会 5月24日	<ul style="list-style-type: none"> 役員選出 R3年度の振り返り 安全衛生年間計画確認 ヒヤリハットの共通認識の確認
第2回委員会 6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 4年度の役割分担確認 感染管理認定看護師への相談結果の報告 マスク着用について 熱中症予防対策の実施ポスター制作 ヒヤリハット
第3回委員会 9月20日	<ul style="list-style-type: none"> 災害時自営防災組織体制について 7～8月コロナ感染拡大についての各事業所検証 危険箇所について ストレスチェックについて リスクマネジメント研修について ヒヤリハット
第4回委員会 10月18日	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症の発生及び蔓延防止等に対する取り組み」の義務化について 9月30日付法人内感染拡大に係る考察の報告を受けての確認 ストレスチェックについて ヒヤリハット
9月24日～ 10月11日	ストレスチェック実施 <ul style="list-style-type: none"> 9月24日（事業所へ配布） 9月24～10/11（個人へ配布 108名） 10月29日（回収 108名）
10月22日	県知的がい福祉協会主催「リスクマネジメントセミナー」を受講（2名）
第5回委員会 11月22日 Zoomにて開催	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症の発生及び蔓延防止等に対する取り組み」の義務化について リスクマネジメント研修復命 コロナウイルスについて 安全管理マニュアルについて ヒヤリハット検討 安全パトロール実施報告
第6回委員会 12月13日	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症の発生及び蔓延防止等に対する取り組み」の義務化について 法人としての感染症発生時の対応についての通知文配布 11～12月コロナ感染拡大についての各事業所検証 ヒヤリハット
第7回委員会 1月17日	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症の発生及び蔓延防止等に対する取り組み」の義務化について 県知的障がい福祉協会主催危機管理研修復命 信濃毎日新聞虐待記事について ヒヤリハット
第8回委員会 3月14日	<ul style="list-style-type: none"> まとめ ヒヤリハット

※令和6年度に義務化される「感染症の発生及び蔓延防止等に対する取り組み」について、それぞれ

れの事業所に合った内容を作成していましたが、コロナウイルスが2類から5類相当に変更になるとの政府の方針の発表があり2月以降、一旦休止しています。

※夏と秋に法人内でコロナウイルス感染拡大を経験したので各事業所の取り組みの確認を行い、安全衛生委員会として役割として「感染対策」を行っていくことを確認しました。

※毎月各事業所のヒヤリハット、事故報告の提出確認、集計と検証を行っています。

※毎月「安全衛生年間計画」の取り組み項目に沿って検討、協議を行っています。

※年間を通して、消毒液の管理の注意喚起を行いました。

3. 事業所別ヒヤリハット報告・事故報告件数と総件数

事業所名	ヒヤリハット	事故	事業所名	ヒヤリハット	事故
こぶし園	30	4	パドル	12	1
第二こぶし園	18	4	アイビス	9	0
グループホーム	20	4	あのねっと	0	0
ヘルパーS	5	1	法人本部	0	0
ぽっぽ	36	5			
グース	11	2	合計	141	21

◆ ヒヤリハット主な内容

- ・転倒、尻もち
- ・飛び出し
- ・連絡ミス、失念
- ・不穏時トラブル

◆ 事故報告主な内容

- ・服薬ミス
- ・車両接触
- ・骨折

令和4年度 広報委員会事業報告

1. 広報紙「こぶしの風」の発行

発行日	主な掲載内容
第40号 5月20日発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理事長あいさつ ○ 人事異動 ○ 卒業おめでとう ○ 新規利用者さん紹介 ○ こぶし園 しあわせの会 ○ 全国絵画コンクール受賞 浦野駿平さん ○ 職員の動き・事業所統合「すけっと」ALPA-ステーション小川へ ○ ぽっぼ宮沢孝明さん退職・編集後記
第41号 8月20日発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理事長あいさつ ○ 苦情解決第三者委員改選 ○ こぶし園庭全面舗装 ○ 令和3年度 事業・決算状況 ○ 職員の素顔 ○ 職員の動き・編集後記
第42号 11月20日発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理事長あいさつ「親亡き後の安心」がホームの役割 ○ パドルダックの避難訓練 ○ 久しぶりの楽しい時間 ○ 職場紹介⑧ ユアサポートぽっぼ ○ 職員の素顔・編集後記
第43号 2月20日発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理事長年頭あいさつ ○ 新グループホーム3月完成に向けて ○ 退職者のお知らせ ○ 今年はうさぎ年 夢・目標を教えて！ ○ 職員の素顔・編集後記

発行数 (4ページ 500部) 年4回

2. ホームページの維持管理

- ブログの更新
 こぶしの風掲載
 法人各種報告書掲載
 求人情報掲載
 ホームページ更新講習の開催 随時

令和4年度 虐待防止委員会 事業報告

1. 目的

令和4年度からの虐待防止に関する義務化を受け、法人が実施する障害福祉サービスに係る利用者に対する虐待の防止を図るための体制を整備することとする。また、利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図るとともに、法人事業に対する社会的な信頼の向上利用者の人権を保護、利用者に健全で適切な支援を提供することを目的とする。

尚、虐待防止に関する義務化が4年度から開始されることにより、人権倫理委員会を改め虐待防止委員会を設置し業務に当たる。

2. 年間活動状況

開催日	主な内容	分類
第1回委員会 5月9日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度からの義務化について 虐待防止責任者、虐待防止マネージャー、虐待防止・苦情受付担当者の委嘱 虐待防止委員会規程（案）の作成 虐待防止の更なる推進、身体拘束等適正化の推進について整備内容の説明 研修プログラム（案）の作成 各事業所「運営規程」の確認、施行（5月10日付）、変更届 議事録の周知確認保存の手順 議事録作成、各事業所へ周知、確認票の回収保存 虐待の疑い事案の確認 ⇒不適切な支援は有り 	委員会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 「虐待防止啓発ポスター」作成、各事業所へ配布、掲示 「虐待防止対応フローチャート」改定、「身体拘束フローチャート」作成 各種様式の整備（報告書、記録書、分析、再発防止等） 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 研修「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」テキスト制作 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> HPへ「規程」「指針」「フローチャート」等掲載 権利擁護部会に参加 → 中止 内容：「虐待防止と対応マニュアル」「事例検討」 	
第2回委員会 8月31日 次第のみ配布	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症レベル6のため委員会を中止。予定していた次第と9月事業所内研修等の説明及び資料配布 喬木村人権擁護委員会との人権擁護取り組み内容の懇談 	委員会
9月中	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修（研修報告書115名回収） テーマ「虐待防止・身体拘束等整備内容の理解」 	研修
10月14日	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援部会 権利擁護部会研修（1名参加） テーマ「成年後見支援センターの取り組み～事例を通して」 主催 飯田市社会福祉協議会 成年後見支援センター 障害福祉サービス等の管理者向け（WAMネット）（1名参加） テーマ「R4年度障がい者虐待・権利擁護研修」 主催 長野県 オンライン研修 	研修
11月中	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止チェックリスト実施（116名回収） 「職員セルフチェックリスト」 「虐待早期発見チェックリスト」 	調査
12月5日 12月9日	<ul style="list-style-type: none"> 11月チェックリスト結果の集計作業とモニタリング 自立支援部会 権利擁護部会研修（1名参加） テーマ「虐待防止と対応について」 	研修

「飯田市の令和3年度における虐待通報について」		
1月16日	・チェックリスト集計結果及び新聞報道を受け「不適切な疑いのある支援」調査 対象事業所：GH、グース、パドルダック、アイビス（49名）	調査
2月9日	・R5年度事業計画（案）策定	
第3回委員会 3月2日	・1年間の活動内容の総括 ・R4年度 事業報告 ・諸連絡	委員会

3. 義務化への取り組み内容

- ①虐待防止委員会の設置
- ②虐待防止委員会の開催
- ③虐待防止責任者、虐待防止マネージャー、虐待防止・苦情受付担当者の委嘱
- ④「法人運営規程」「委員会設置規程」「虐待防止委員会規程」「事業所運営規程」の改定、変更届
- ⑤全職員に対し委員会議事録の回覧周知、確認、保存
- ⑥従業員への虐待防止のための研修、研修プログラムの策定、研修テキスト制作
管理者等を対象とした県主催オンライン研修
- ⑦南信州広域連合地域自立支援協議会権利擁護部会参加及び部会研修受講
- ⑧「虐待防止のための指針」「身体拘束適正化のための指針」の策定
- ⑨「虐待防止フローチャート」「身体拘束フローチャート」作成
- ⑩各種様式の整備
- ⑪虐待事案（虐待の疑い・不適切な支援も含む）発生時の対応、検証、再発防止策
- ⑫虐待防止のチェックリスト実施と結果集計、モニタリング
- ⑬ホームページへ「身体拘束等適正化の推進」閲覧公開
- ⑭虐待防止ポスター制作、各事業所にて掲示

4. 法人内「不適切な疑いのある支援」の把握

- ・不適切な呼び方（あだ名、呼び捨て、敬称ちゃん・君）
- ・「早くして」「待ってて」「何でできないの」等の声掛け
- ・「〇〇しなさい!」「してください!」等の強い口調
- ・腕を引っ張って連れて行く
- ・聞こえない振り、無視